

ならエコファーマー通信

奈良県エコファーマー連絡会

第14号



梨子本氏による説明



収穫体験と写真コンテスト

エコファーマー体験ツアー 実施しました！

取組農園大募集中

消費者に取組を知ってもらふ場、消費者の生の声を聞く場を持ちませんか？連絡会会員ならどなたでもOK。ご興味のある方は事務局までご連絡下さい。

第1回体験ツアー



菊井会長のあいさつ



写真コンテスト（梨子本果樹園HP）

エコファーマー体験ツアー フォトコンテスト

実施された【エコファーマー体験ツアー】の中で行われたフォトコンテストを行いました。
ご参加ありがとうございました。
審査は非常に悩みましたが、選ばせていただきました。
は……

平成26年8月23日(土)、大淀町にある梨子本果樹園の梨園を会場に消費者交流会を開催し、31名の消費者に参加いただきました。

橿原市では雷鳴のなる土砂降りの天気でしたが、会場の大淀町ではなんと暑いほどの快晴！無事に交流会を開くことが出来ました。

開会挨拶、エコファーマー制度についてクイズを交えながら説明をした後、梨子本さんから土作りや袋掛け、草生栽培、黄色灯など、環境にやさしい農業への取組をご紹介いただきました。袋掛けでは20万個の梨に袋をかけるという話に、参加者一同、驚きの声を上げておられました。

農作業体験では、梨の収穫体験を行いました。

た。梨の熟度の見方、収穫の仕方を教わり、これは、という梨を探していただきました。

また、フォトコンテストを開催して、農園や交流会の様子を写真に撮っていただき、のんびりと交流する時間を作りました。

参加者からは、“見渡す限りの梨園。奈良にこんな果物の里があるとはおどろきの一日でした。”“果樹園の管理が大変苦労されているのが分かりました。”“プロの収穫を見せてもらえる機会があるとおもしろいと思います。”などなど、たくさんの意見をいただきました。

エコファーマーによる農園の取組紹介は毎回好評で、消費者の関心の高さがうかがえます。

第2回体験ツアー

平成26年11月22日(土)、大和高田市で軟弱野菜を栽培しておられるUEDAなっば工房の上田さんのところで消費者交流会を開催し、23名の参加がありました。

上田さんは大和野菜である大和まなを一年を通して栽培・出荷されています。取組について説明した後、奥さんによる料理紹介、試食を行いました。試食の後はお楽しみの収穫体験♪赤色防虫ネットの活用など環境にやさしい技術の説明をいただきながら、上田さんが選抜されて

いる珍しい赤軸大和まなの他、大和まな、シロナなどの収穫をしました。また、息子で特別栽培に取り組む上田幸正さんのところでキュウリの収穫体験を行いました。そのほか、播種作業見学や畑で収穫したての野菜直売もあり、盛りだくさんの内容でした。

参加者からは、「生産者の方の考えを聞くことができ、良かったです」「まなのお漬け物美味しかったです。早速家で作ってみます」「土作りを具体的に教えて欲しいです」などの意見をいただきました。



上田さんの説明



直売



大和まな等収穫体験



キュウリの収穫体験



大和まな料理の紹介と試食



播種見学



土づくりポスターあります

土づくりを啓発するポスターを作成しました。ご活用いただける場合は、農業水産振興課までご連絡下さい。送付いたします。

土づくりは、作物生育を順調にするために大切なこと。足りない成分は何か、過剰な養分は何か、どんな物理性の改善が必要か、そのためにはどんな資材が合っているのか。目的に応じた資材の活用をしましょう。



奈良県エコファーマー連絡会第8回通常総会を開催



奈良県エコファーマー連絡会 総会

平成26年11月7日(金)、葛城コミュニティセンターにて、会員16名の参加を得て、奈良県エコファーマー連絡会第8回通常総会を開催しました。

平成25年度の事業報告後、平成26年度事業計画の協議を行い、下記の事業が承認されました。

総会終了後、環境保全型農業推進講演会を開催しました。アリストライフサイエンス(株)の山中聡氏から、「天敵を利用した防除プログラムについて」と題していろいろな作物での活用事例を交えながら、天敵製剤の使い方および防除体系について講演いただきました。

続いて、奈良県病害虫防除所の國本所長より、有機農業でも使える害虫防除技術について、有機JAS別表2で活用できる農薬の使い分け方の他、確実に薬剤をかけるための散布方法、防虫ネット、天敵活用方法(つり下げ型が効果安定)等、講演いただきました。

当日欠席された方で、総会・講演会資料を希望される場合は事務局までご連絡下さい。



環境保全型農業推進講演会
講師:アリストライフサイエンス(株) 山中 聡氏



環境保全型農業推進講演会
講師 國本病害虫防除所長

平成26年度事業計画

(平成26年10月～平成27年9月)

■ 総会・役員会の開催

■ 環境保全型農業技術の研修、情報提供

- (1) 環境保全型農業技術研修会の開催 (11/7、2月)
- (2) エコファーマー技術交流会の開催 (2月)
- (3) ならエコファーマー通信の発行 (1回)

■ エコファーマーの取組、農産物のPR

- (1) エコファーマー活動PRパネルの作成と貸出
- (2) 奈良まほろば市におけるPR (11/1～2)
- (3) 消費者交流会(エコファーマー体験ツアー)の開催 (2回)

奈良まほろば市でPRしました

平成26年11月1日(土)～2日(日)橿原公苑で開催された奈良まほろば市において、パネル展示、アンケート等を行い、環境に優しい農業をPRしました。



地域でがんばる！ エコファーマー

堅川 榮子 さん（平群町、認定番号804号）

認定作物：きく

堅川さんは、菊づくりを始めて50年の大ベテラン。平成7年には亡夫・勉さんが奈良県農業賞を受賞されました。単価が伸び悩む中、規模拡大により経営を維持・発展させてこられ、現在は150aで200品種の小菊生産に取り組まれています。

栽培に大切なのは、まず“土作り”、と土作りに昔から力をいれてこられました。ケイントップやピートモスといった植物質のたい肥を毎年施用されているほか、油粕、スーパー菊配合など有機質の肥料を使用されています。

平成24年にはオオタバコガの対策として地域でまとまってネットハウスを導入され、農薬使用量の低減に取り組まれています。

榮子さんは、栽培日誌をつける事が適期作業のコツ、と欠かさず記帳しておられ、次年度の栽培、適期防除等に役立てておられます。



堅川榮子さん(左の前側)とご家族

環境保全型農業直接支援対策が27年度から法律に基づく安定した支援対策に変わります。

平成27年度から「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づく対策になります。主な変更点は以下のとおり(注:今後、制度の調整等により変更があります)。

- 対象者 : 農業者個人での申請から、農業者グループを基本としたものになります。(※個人の農業者も一定の条件を満たし市町村が認める場合は申請は可能です)
- 取組数 : 一つの圃場に対して、2つまでの複数の取組を申請できるようになります。複数取組により、交付上限額が最大8,000円/10aから最大16,000円/10aにあがります。(取組によって異なります)
- 取組内容: 従来の取組に加え、環境保全型農業の推進をするための活動が必要です。(農業者グループで環境保全型農業の勉強会をするなど「農業者の技術向上」や、消費者と意見交換会や生き物調査をするなど「環境保全型農業の理解増進」につながる活動。)

詳しくは、各市町村、各農林振興事務所、県農業水産振興課、奈良地域センターへお問い合わせ下さい。

編集
後記



エコファーマー連絡会でしてみたい活動、研修内容の希望など、ご意見をお寄せ下さい。「地域でがんばる！エコファーマー」のコーナーへの掲載のご希望もお待ちしています。

発行 奈良県エコファーマー連絡会

(事務局 奈良県農業水産振興課環境係)

〒630-8501 奈良県奈良市登大路町30 TEL0742-27-7442 FAX0742-22-9521

平成27年1月発行